

PAREA-Hazard データ仕様書 目次

	Page
1 PAREA-Hazard の概要	1
1-1 避難所・避難場所について	2
1-2 災害種別について	
2 ファイル構成および仕様	4
2-1 ファイル構成	4
2-2 ファイルレイアウト	5
(1) 施設データ	5
(2) 広域避難所ポリゴンデータ	10
(3) 収録自治体ポリゴンデータ	11
2-3 ご利用上の注意点	12
2-4 ファイル名称	14
2-5 フォルダ構成	16

1. PAREA-Hazard の概要

PAREA-Hazard 避難所（以下、「本データベース」といいます）は、全国の避難所および避難場所を収録したデータベースです。

- ※ 本データベースは、公表されている資料を基に独自調査して収集し、避難所等の名称、位置座標や形状、及び住所、電話番号等の属性情報を記載しております。必ずしも現存する全ての避難所、また各避難所等の全ての属性情報を収録しているわけではありません。
- ※ 本データベースは、調査時点における各自治体の情報内容を取りまとめたものです。そのため調査時点以降に各自治体が情報を変更する場合がありますので、使用にあたっては予めご承知おきください。
(特に災害発生時などには、その状況に応じて自治体が新たに情報を更新する場合があります。)
- ※ 本データベースは縮尺 1:25000 相当で位置座標を取得しています。そのため、大縮尺 (1:1000、1:2500 等) の他の地図データと重ねあわせを行う場合、位置が多少ずれる可能性があります。
- ※ **津波避難ビル、帰宅困難者収容施設については現状では収録の対象外としています。**(将来的には収録予定)

1-1 避難所・避難場所について

指定避難所（避難所）および指定緊急避難場所（避難場所）については、災害対策基本法（以下、「**災対法**」）といいますが、下記の通り規定されています。（平成 25 年 6 月改正時に規定）

災害対策基本法 引用

第四十九条の四

市町村長は、防災施設の整備の状況、地形、地質その他の状況を総合的に勘案し、必要があると認めるときは、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合における円滑かつ迅速な避難のための立退きの確保を図るため、政令で定める基準に適合する施設又は場所を、洪水、津波その他の政令で定める異常な現象の種類ごとに、**指定緊急避難場所**として指定しなければならない。

第四十九条の七

市町村長は、想定される災害の状況、人口の状況その他の状況を勘案し、災害が発生した場合における適切な避難所（避難のための立退きを行った居住者、滞在者その他の者（以下「居住者等」という。）を避難のために必要な間滞在させ、又は自ら居住の場所を確保することが困難な被災した住民（以下「被災住民」という。）その他の被災者を一時的に滞在させるための施設をいう。以下同じ。）の確保を図るため、政令で定める基準に適合する公共施設その他の施設を指定避難所として指定しなければならない。

第四十九条の八

指定緊急避難場所と指定避難所とは、相互に兼ねることができる。

各自治体では災対法の規定により、指定避難所や緊急避難場所などを設定しています。

但し、なかには自治体独自の呼称を付与（例：一次避難所、二次避難所、一時避難場所）したり、法改正以前に設定した施設種別の名称を引き継いで使用しているケースも見受けられます。

そのような場合、本データベースの作成にあたり、自治体公表資料に記載されている説明文をもとに施設種別を記載しています。

本データベースにおける避難所・避難場所の種別・説明

① 避難所

災害が発生し、またはその恐れがあるとき、必要な期間、居住者や被災住民等を一時的に滞在させる施設。

拠点種別	説明
指定避難所	自治体が、居住者・被災住民等を一時的に滞在させるために指定する施設。
福祉避難所	避難所のうち、高齢者、障害者、乳幼児（その保護者を含む）などの要配慮者を滞在させるための施設。
その他	上記に当てはまらない施設

② 避難場所

災害が発生し、またはその恐れがあるときに、その危険から逃れるための避難場所。

拠点種別	説明
指定緊急避難場所	自治体（場合によっては自治会が設定して自治体が認可）が指定した避難場所。一時避難場所などで呼称されている施設を含む。
広域避難場所	避難場所のうち、自治体が広域もしくはそれに類する用語で指定している避難場所。 地震などにより発生した火災が多発し延焼拡大した場合、その危険から市民の生命・身体を守るために避難する場所として指定されている。
津波避難ビル	津波浸水予想地域内において、地域住民等が一時もしくは緊急避難・退避する施設をいい、自治体が津波避難ビルもしくはそれに類する用語で指定している施設。
その他	上記に当てはまらない施設

※ 「津波避難ビル」については、現在、本データベースに収録しておらず、将来整備する予定です。

1-2 災害種別について

災害対策基本法施行令では、その災害について以下の通り規定しています。

災害対策基本法施行令 引用
第二十条の四 法第四十九条の四第一項の政令で定める異常な現象の種類は、次に掲げるものとする。
一 洪水
二 崖崩れ、土石流及び地滑り
三 高潮
四 地震
五 津波
六 大規模な火事
七 前各号に掲げるもののほか、内閣府令で定める異常な現象の種類

施行令を受けて、本データベースでは以下のように災害種別を設定しています。

災害種別
地震
火災
風水害
津波
高潮
土砂災害
その他 ※

※「その他」とは、火山災害等、上記に含まれない災害で、その内容を別途記載します。

2. ファイル構成および仕様

2-1 ファイル構成

本データベースは下記のファイル群で構成されています。

① 施設データ

各自治体で指定された避難所・避難場所について、名称、住所、その他属性データを保有します。

② 広域避難所ポリゴンデータ

施設データのうち、拠点種別が「広域避難場所」と指定されているもので、且つ自治体の資料等により、その範囲が明確に判るものについて、そのエリアをポリゴンデータとして保有します。

(範囲が明確化されていないものについては、ポリゴンデータは存在しません。)

③ 収録自治体データ

自治体が避難所等の情報を公表していない場合は、データを収録していません。

そのため、自治体毎の収録の有無を示すデータとして保有します。

※ ファイルは全て都道府県単位に分かれています。

※ 施設データ、広域避難所ポリゴンデータは Shape ファイルにて提供するほか、CSV 形式の属性データファイルとしても提供いたします。

※ 収録自治体データは CSV 形式のデータのみです。

※ 広域避難所ポリゴンデータについては、該当するデータが都道府県内に 1 件もない場合はその都道府県に関する広域避難所ポリゴンデータのファイル (Shape、CSV) は提供されません。

2-2 ファイルレイアウト

(1) 施設データ

No.	項目		Shape 属性名	型式	備考	
1	拠点 ID		KYOTEN_ID	C	都道府県コード+連番 (7桁)	
2	代表拠点 ID		DAIHYO_ID	C	同上	
3	名称		MEISHO	K		
4	名称 (カナ)		KANA	K	広域避難場所のみ	
5	指定自治体	行政コード	SITEI_CODE	C	自治体コード (5桁)	
6	指定自治体	都道府県名	PREF_NAME	K		
7	指定自治体	市区郡町村名	CITY_NAME	K		
8	所在地	行政コード	PNT_CODE	C	自治体コード (5桁)	
9	所在地	住所	JYUSHO	K		
10	電話番号		TEL	C	ハイフン区切り	
11	拠点 種別	避難所	指定避難所	HNJ_SITEI	0: 指定無 1: 指定有 2: 指定有 (推定)	
12			福祉避難所	HNJ_FUKUSI		
13			その他	HNJ_ELSE		
14		緊急避難場所	指定緊急避難場所	HNB_KINKYU		(未使用) 全て 0
15			広域避難場所	HNB_KOIKI		
16			津波避難ビル	HNB_TUNAMI		
17			その他	HNB_ELSE		
18	給水地点	KYUSUI_PNT	I	0: 指定無 1: 指定有 2: 指定有 (推定)		
19	自治体呼称 拠点種別		KOSHO	K		
20	災害指定有無		SAIGAI	I	0: 災害指定なし 1: 指定あり	
21	個別災害指定	地震	JISHIN	I	0: 指定有 (当該災害時使用不可) 1: 指定有 (当該災害時使用可能) 9: 個別災害指定なし	
22		火災	KASAI	I		
23		風水害	HUSUI	I		
24		津波	TUNAMI	I		
25		高潮	TAKASIO	I		
26		土砂災害	DOSHA	I		
27		その他	SONOTA	I		
28		その他内容	ELSE_TXT	K		
29	高さ (m)		HIGH	F	計算値	
30	収容面積 (㎡)		MENSEKI	I		
31	収容人数 (人)	避難所	NINZU_HNJ	I		
32		緊急避難場所	NINZU_HNB	I		
33	医療拠点		IRYO	I	0: 指定無 1: 指定有 9: :記載無	
34	給水設備		KYUSUI	I	0: 指定無 1: 指定有 9: :記載無	
35	更新日		UPDATE	C	YYYY/MM/DD	

型式凡例 C: 半角文字 K: 全角文字 I: 半角数字 F: 小数点付き半角数字

※ Shape ファイル属性名は、属性データファイルのヘッダーとしても記載されています。

※ 名称・住所は J I S 第 1・第 2 水準の漢字文字列としています。第 1・第 2 水準以外の漢字が使用されている場合は、類似文字もしくは平仮名にて表現します。(ローマ数字 (I、II・・・) を除く)

【項目説明】

① 拠点 ID (No.1)

都道府県コード（2桁：01～47）と都道府県内でユニークとなる番号（5桁）を結合することにより、構成される7桁の番号

（施設が廃止となった場合は、当該拠点 ID は欠番となります）

過去仕様（第 1.1 版以前）のデータをご利用の方へ

過去仕様のデータにおける拠点 ID は都道府県毎に 1 からの番号でしたが、現仕様は下 5 桁の番号が過去仕様のデータと対応するように設定しています。

例) 過去仕様の拠点 ID : 123 ○○公園

現仕様の拠点 ID : 1300123 ○○公園

② 代表拠点 ID (No.2)

基本的には「拠点 ID」と同一の値が入りますが、1つの施設について複数の自治体から同一施設を指定されている場合、その代表となるレコードの拠点 ID が入ります。

→「2-3 ご利用上の注意点」参照

③ 名称 (No.3)

施設の名称が入ります。

基本的に自治体資料で呼称されている名称がそのまま入ります。

④ 名称カナ (No.4)

施設の名称の読み仮名（カタカナ）が入ります。

但し広域避難場所に指定されている場合に限り、それ以外には挿入されません。

⑤ 指定自治体 行政コード (No.5)

当該施設を指定した自治体の行政コード（5桁：全国地方公共団体コード体系（J I S 規格））が入ります。

⑥ 指定自治体 都道府県名 (No.6)

当該施設を指定した自治体の都道府県名が入ります。

⑦ 指定自治体 市区郡町村名 (No.7)

当該施設を指定した自治体の市区郡町村名が入ります。

⑧ 所在地 行政コード (No.8)

施設位置 (所在地住所) がある自治体の行政コードが入ります。

なお、隣接する自治体の施設への避難を指示する場合などがあり、必ずしも「指定自治体 行政コード」と「所在地 行政コード」が一致するとは限りません。

→「2-3 ご利用上の注意点」参照

⑨ 所在地 住所 (No.9)

施設の住所が入ります。

⑩ 電話番号 (No.10)

当該施設の電話番号が入ります。

基本的に市外局番、市内局番、加入者番号をハイフンで繋げる形式となります。

例) 03-3456-7890

※ 電話番号は固定電話 (市外局番から始まる電話番号) のみとし、IP電話、CATV電話等については収録していません。

※ 電話が無い施設 (公園等) などもあるため、全てのデータに電話番号があるとは限りません。

⑪ 拠点種別 (No.11~No.18)

施設における拠点種別の指定状況を、それぞれコードにより表現しています。

拠点種別		説明
避難所	指定避難所	自治体が、居住者・被災住民等を一時的に滞在させるために指定する施設。
	福祉避難所	避難所のうち、高齢者、障害者、乳幼児 (その保護者を含む) などの要配慮者を滞在させるための施設。
	その他	上記に当てはまらない施設 (※)
避難場所	指定緊急避難場所	自治体が指定もしくは認可した避難場所。一時避難場所などで呼称されている施設を含む。
	広域避難場所	避難場所のうち、自治体が広域もしくはそれに類する用語で指定している避難場所。
	津波避難ビル	津波浸水予想地域内において、緊急避難・退避する施設をいい、自治体が津波避難ビルもしくはそれに類する用語で指定している施設。 (※)
	その他	上記に当てはまらない施設 (※)
給水地点		給水地点として単独で指定されている施設 (避難所、避難場所に併設されている場合を含まない)

※ 津波避難ビルについては、現在データは挿入されていません。(全てコード=0)

※ 「その他」で指定されている施設については、「自治体呼称 拠点種別」にてその内容をご確認ねがいます。

コード	内容
0	当該拠点種別には指定されていない。
1	当該拠点種別に指定されている。
2	当該拠点種別には明確に指定されていないが、自治体による説明文などを参照すると指定されていると推定できる。(※)

※ コード=2 が設定される場合の例として以下のような場合があります。

- 自治体資料には「避難所」として記載されているが、資料の説明文には「自宅から避難所へのルートを確認しておいてください」といった説明文があり、「指定緊急避難場所」としての指定も推定できる。
- 自治体資料には「避難所」とだけ記載されているが、当該自治体には「指定緊急避難場所」や「広域避難場所」に該当する施設がなく（説明や区別がない）、「避難所」が「指定緊急避難場所」を兼ねていると推定できる。（またはその逆）

⑫ 自治体呼称 拠点種別 (No.19)

自治体では、「指定避難所」「指定緊急避難場所」など、本データベースで定める種別と同様の種別名称（災対法準拠）で指定している場合の他、「一次避難所」「二次避難所」「一時避難場所」など独自の種別名称で呼称しているものがあります。

ここでは、各自治体が設定している種別名称を記載しています。

なお、複数の種別で指定されている場合、「/」を付けてその種別を表します。

例：一次避難所と一時避難場所に指定されている場合 …… 「一次避難所／一時避難場所」

⑬ 災害指定有無 (No.20)

施設が災害による指定を受けているかどうかを記述します。

（個別災害指定に指定があるかどうか）

コード	内容
0	災害による指定がない。 （個別災害指定 (No.21～27) が全て” 9”）
1	災害による指定がある。 （個別災害指定 (No.21～27) のいずれかに” 0” もしくは” 1” が設定されている。）

⑭ 個別災害指定 (No.21～28)

「地震」(No.21)、「火災」(No.22)、「風水害」(No.23)、「津波」(No.24)、「高潮」(No.25)、「土砂災害」(No.26)、「その他」(No.27) について、その指定の有無をコードで表します。

なお、「その他」で指定された場合（例：火山）は、その内容を「その他内容」(No.28) に記載します、

コード	内容
0	当該災害に対する記述があり、災害発生時には「使用不可」とされている。
1	当該災害に対する記述があり、災害発生時には「使用可能」とされている。
9	当該災害に対する記述がない。

⑮ 高さ (No.29)

施設の標高値が入ります。

数値は標高メッシュデータからの計算値となります。

自治体によっては資料に標高値が記載されているものがありますが、それとは異なりますのでご注意ください。

⑯ 収容面積 (No.30)

自治体資料に基づく施設の収容面積が入ります。

※ 自治体資料に収容面積の記載が無い場合、値は0となります。

⑰ 収容人数 (No.31、32)

自治体資料に基づく施設の収容人数が入ります。

避難所としての収容人数、緊急避難場所としての収容人数に分けて収録しています。

※ 自治体資料に収容人数の記載が無い場合、値は0となります。

※ 避難所、緊急避難場所の両方に指定があり、自治体資料には収容人数として1項目しか記載されていない場合、両方の項目に同一値が入ります。

⑱ 医療拠点 (No.33)

自治体資料に基づき、医療拠点としての指定の有無をコードで表します。

コード	内容
0	医療拠点に関する記述があり、医療拠点には指定されていない。
1	医療拠点に関する記述があり、医療拠点には指定されている。
9	医療拠点に関する記述がない。

⑲ 給水設備 (No.34)

自治体資料に基づき、給水設備（非常用井戸など）の有無をコードで表します。

コード	内容
0	給水設備に関する記述があり、給水設備がない。
1	給水設備に関する記述があり、給水設備がある。
9	給水設備に関する記述がない。

⑳ 更新日 (No.34)

当該レコードの更新日を YYYY/MM/DD の形式で収録します。

(2) 広域避難場所ポリゴンデータ

No.	項目	Shape 属性名	型 式	備考
1	代表拠点 ID	DAIHYO_ID	C	都道府県コード+連番 (7桁)
2	名称	MEISHO	K	
3	名称 (カナ)	KANA	K	
4	所在地 住所	JYUSHO	K	

型式凡例 C: 半角文字 K: 全角文字

- ※ 施設データの中で「広域避難場所」と指定されているもので、且つそのエリア (範囲) が自治体資料において明確に判るものについて、ポリゴンデータの作成対象となります。
- ※ Shape ファイル属性名は、属性データファイルのヘッダーとしても記載されています。
- ※ 広域避難所ポリゴンデータについては、該当するデータが都道府県内に 1 件もない場合はその都道府県に関する広域避難所ポリゴンデータのファイル (Shape、CSV) は提供されません。

【項目説明】

- ① 代表拠点 ID (No.1)
『施設データ』の代表拠点 ID に対応する値が入ります。
- ② 名称 (No.2)
施設の名称が入ります。
- ③ 名称カナ (No.3)
施設の名称の読み仮名 (カタカナ) が入ります。
- ④ 所在地 住所 (No.4)
施設の住所が入ります。

(3) 収録自治体データ

No.	項目	型式	備考
1	行政コード	C	(5桁)
2	都道府県名	K	
3	市区郡町村名	K	
4	収録有無	K	
5	確認年度	C	西暦4桁

① 行政コード (No.1)

自治体の行政コード（5桁：全国地方公共団体コード体系（J I S規格））が入ります。

② 都道府県名 (No.2)

自治体の都道府県名が入ります。

③ 市区郡町村名 (No.3)

自治体の市区郡町村名が入ります。

④ 収録有無 (No.4)

当該自治体のデータが本データベースに収録されているかどうかを記載します。

コード	内容
○	当該自治体のデータは収録されている。
×	当該自治体のデータは収録されていない。

⑤ 確認年度 (No.5)

当該市区町村において、基資料を確認した年度を西暦4桁で示します。

基本的にはデータ作成年度と同一（2016年度版データであれば2016という値を挿入）ですが、何らかの理由により、市区町村の資料を確認することが出来なかった場合、過去の年度が入ることがあります。

その場合、当該市区町村のデータは過去（前年度等）に取得した資料に基づいてデータを作成しています。

2-3 ご利用上の注意点

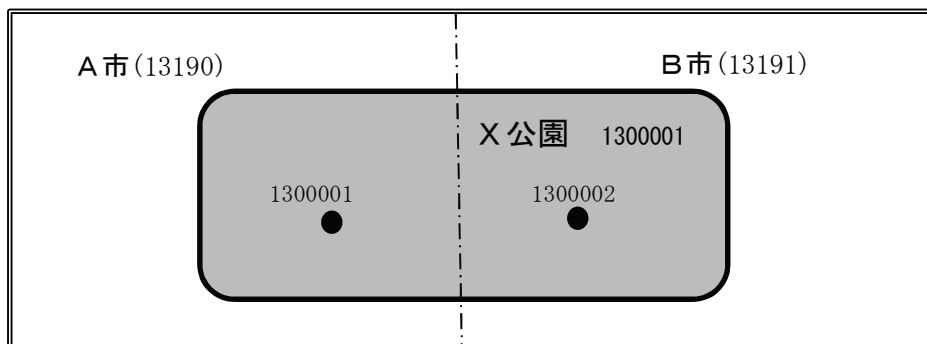
① 市区町村を跨る（越える）施設について

施設の中には、市区町村境界を跨る施設（広域避難場所など）や、近隣の自治体内にある施設に指定されている場合があります。

本データベースは自治体毎の資料からデータを作成しているため、複数の自治体から同一施設の指定を受けていると、当該施設のデータが重複することになってしまいます。

重複したデータが同一施設であることを判るように、「拠点 ID」と「代表拠点 ID」で表現しています。

例1) A市（行政コード：13190）とB市（行政コード：13191）に跨るようにX公園があり、A市、B市から「広域避難所」としての指定を受けている。



X公園内のA市、B市それぞれに施設データを持ち、いずれかを代表拠点とする。

ポリゴンデータは、代表拠点 ID に紐付く。

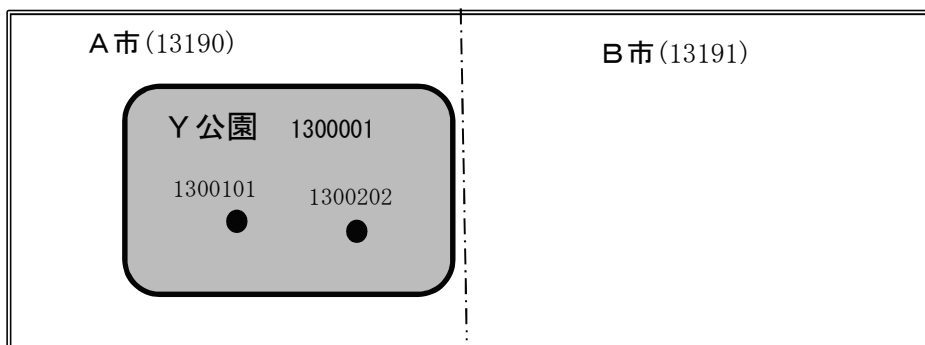
施設データ

拠点 ID	代表拠点 ID	名称	指定自治体 行政コード	指定自治体 市区郡町村名	所在地 行政コード
1300001	1300001	X公園	13190	A市	13190
1300002	1300001	X公園	13191	B市	13191

広域避難所ポリゴンデータ

代表拠点 ID	名称
1300001	X公園

例2) A市(行政コード:13190)内にY公園があり、A市のほか、隣接するB市(行政コード:13191)からも「広域避難所」としての指定を受けている。



X公園内のA市、B市それぞれに施設データを持ち、Y公園があるA市の施設データを代表拠点とする。ポリゴンデータは、代表拠点IDに紐付く。

施設データ

拠点ID	代表拠点ID	名称	指定自治体行政コード	指定自治体市区郡町村名	所在地行政コード
1300101	1300101	Y公園	13190	A市	13190
1300202	1300101	Y公園	13191	B市	13190

広域避難所ポリゴンデータ

代表拠点ID	名称
1300101	Y公園

② 施設データのレコード単位

施設データのレコード単位はあくまで自治体の定める基準によります。

自治体により、同一施設でも複数件表記されている場合と、1件にまとめられている場合がありますが、それぞれの表記の形態によりレコード数が変わります。

例) 自治体資料の指定例

A小学校(グラウンド)	指定緊急避難場所
A小学校(体育館)	指定避難所
B小学校	指定緊急避難場所 および 指定避難所

上記 A小学校の場合は「A小学校(グラウンド)」「A小学校(体育館)」という2つのデータを作成し、B小学校の場合は「B小学校」という1つのデータを作成しています。(A小学校でまとめるような操作はしていません)

2-4 ファイル名称

本データベースでは、ファイル名称を以下の通りとします。

(1) 施設データ

PHRPxxyy.zzz

- ① 固定文字 (PHRP) …施設データであることを示す固定文字です。
- ② xx … 都道府県コード (01~47) が入ります。
- ③ yy … データ作成年度 (西暦下2桁) が入ります。
- ④ zzz … ファイル修飾子です。下表の修飾子が入ります。

シェープファイル	shp
	dbf
	shx
属性データファイル	csv

例：2016 年度版の東京都（都道府県番号=13）の施設データにおける Shape ファイルは以下の3ファイルで構成されています。

PHRP1316.shp PHRP1316.dbf PHRP1316.shx

(2) 広域避難場所ポリゴンデータ

PHRAxxyy.zzz

- ① 固定文字 (PHRA) … 広域避難場所ポリゴンデータであることを示す固定文字です。
- ② xx … 都道府県コード (01~47) が入ります。
- ③ yy … データ作成年度 (西暦下2桁) が入ります。
- ④ zzz … ファイル修飾子です。下表の修飾子が入ります。

シェープファイル	shp
	dbf
	shx
属性データファイル	csv

例：2016 年度版の大阪府（都道府県番号=27）の施設データにおける Shape ファイルは以下の3ファイルで構成されています。

PHRA2716.shp PHRA2716.dbf PHRA2716.shx

(3) 収録自治体データ

aabb_収録自治体 cc.txt

- ① aa … 都道府県コード（01～47）が入ります。
- ② bb … 都道府県名称（北海道、青森 etc.）が入ります。
- ③ _収録自治体 … 固定文字です。
- ④ cc … データ作成年度（西暦下2桁）が入ります。
- ⑤ txt … 修飾子はtxtとなります。

例：2016年度版の愛知県（都道府県番号=23）の収録自治体データは以下の名称です。

23 愛知_収録自治体 16.txt

2-5 フォルダ構成

データベースは以下のフォルダ構成にて収録されています。

